

# CASBEE<sup>®</sup> あいち

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エルグランデ岡崎八帖北	階数	地上15階
建設地	愛知県岡崎市八帖北町2-5	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	168人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年8月 予定	評価の実施日	2024年9月13日
敷地面積	805 m <sup>2</sup>	作成者	稲吉 康雄
建築面積	333 m <sup>2</sup>	確認日	2024年9月13日
延床面積	3,831 m <sup>2</sup>	確認者	稲吉 康雄

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

★ ★ ★ ★ ★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★ ★ ★ ★ ★

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 98%

③上記+②以外の 98%

④上記+ 98%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 3.7

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 2.8

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 1.3

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.4

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 4.3

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 2.7

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 2.9

3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">3.0</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">3.9 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">8.1 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">2.7</p>	<p>④地域材の活用</p> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動に応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
 (仮称)エルグランデ岡崎八帖北

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄						全体
配慮項目	独自基準 重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体		
									建物全体・共用部分	住居・宿泊部分
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.7</b>	
<b>Q1 室内環境</b>									<b>3.7</b>	
<b>1 音環境</b>									<b>3.2</b>	
<b>1.1 室内騒音レベル</b>									<b>3.0</b>	
<b>1.2 遮音</b>									<b>3.0</b>	
1 開口部遮音性能									3.0	
2 界壁遮音性能									3.0	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									3.0	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									3.0	
<b>1.3 吸音</b>									-	
<b>2 温熱環境</b>									<b>4.6</b>	
<b>2.1 室温制御</b>									<b>3.0</b>	
1 室温									3.0	
2 外皮性能									3.0	
3 ゾーン別制御性									3.0	
<b>2.2 湿度制御</b>									<b>3.0</b>	
<b>2.3 空調方式</b>									<b>3.0</b>	
<b>3 光・視環境</b>									<b>2.8</b>	
<b>3.1 昼光利用</b>									<b>3.0</b>	
1 昼光率									3.0	
2 方位別開口									3.0	
3 昼光利用設備									3.0	
<b>3.2 グレア対策</b>									<b>3.0</b>	
1 昼光制御									3.0	
<b>3.3 照度</b>									<b>3.0</b>	
<b>3.4 照明制御</b>									<b>3.0</b>	
<b>4 空気質環境</b>									<b>3.6</b>	
<b>4.1 発生源対策</b>									<b>3.0</b>	
1 化学汚染物質									3.0	
<b>4.2 換気</b>									<b>3.0</b>	
1 換気量									3.0	
2 自然換気性能									3.0	
3 取り入れ外気への配慮									3.0	
<b>4.3 運用管理</b>									<b>3.0</b>	
1 CO <sub>2</sub> の監視									3.0	
2 喫煙の制御									3.0	
<b>Q2 サービス性能</b>									<b>2.8</b>	
<b>1 機能性</b>									<b>2.5</b>	
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>									<b>3.0</b>	
1 広さ・収納性									3.0	
2 高度情報通信設備対応									3.0	
3 バリアフリー計画									3.0	
<b>1.2 心理性・快適性</b>									<b>3.0</b>	
1 広さ感・景観 (天井高)									3.0	
2 リフレッシュスペース									3.0	
3 内装計画									3.0	
<b>1.3 維持管理</b>									<b>3.0</b>	
1 維持管理に配慮した設計									3.0	
2 維持管理用機能の確保									3.0	
<b>2 耐用性・信頼性</b>									<b>3.0</b>	
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>									<b>3.0</b>	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)									3.0	
2 免震・制震・制振性能									3.0	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>									<b>3.0</b>	
1 躯体材料の耐用年数									3.0	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔									3.0	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									3.0	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔									3.0	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔									3.0	
6 主要設備機器の更新必要間隔									3.0	
<b>2.4 信頼性</b>									<b>3.0</b>	
1 空調・換気設備									3.0	
2 給排水・衛生設備									3.0	
3 電気設備									3.0	
4 機械・配管支持方法									3.0	
5 通信・情報設備									3.0	

<b>3 対応性・更新性</b>					0.2	3.0	0.29	3.1	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					-	-	-	3.2	3.2	0.50	
1 階高のゆとり				住居部階高2.91m					4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					3.0				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0				3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			②		1.0	3.0	1.00				
1 空調配管の更新性						3.0	0.17				
2 給排水管の更新性					3.0	3.0	0.17				
3 電気配線の更新性					3.0	3.0	0.11				
4 通信配線の更新性					3.0	3.0	0.11				
5 設備機器の更新性					3.0	3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保					3.0	3.0	0.22				
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>						-	0.30				1.3
1 生物環境の保全と創出			独自③			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④			1.0	0.40				1.0
3 地域性・アメニティへの配慮					0.3	2.0	0.30				2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④			2.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上						2.0	0.50				
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>											3.4
<b>LR1 エネルギー</b>						-	0.40				4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=0.8	3.0	5.0	0.33				5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.17				3.0
3 設備システムの高効率化				BEI=0.78	3.0	5.0	0.33				5.0
4 効率的運用					0.1	3.0	0.17				3.0
集合住宅以外の評価											
4.1 モニタリング				省エネ等級5	3.0						
4.2 運用管理体制					3.0						
集合住宅の評価					1.0	3.0	1.00				
4.1 モニタリング						3.0	0.50				
4.2 運用管理体制						3.0	0.50				
<b>LR2 資源・マテリアル</b>						-	0.30				2.7
1 水資源保護					0.1	3.4	0.15				3.4
1.1 節水					3.0	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	3.0	1.00				
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	3.0	-				
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	2.5	0.63				2.5
2.1 材料使用量の削減						2.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用						3.0	0.24				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②			3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自		3.0	1.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	3.0	0.05				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自		3.0	3.0	0.24				
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.0	0.22				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.0	0.68				
1 消火剤						-					
2 発泡剤(断熱材等)						3.0	0.50				
3 冷媒					3.0	3.0	0.50				
<b>LR3 敷地外環境</b>						-	0.30				2.9
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率98%		3.0	0.33				3.0
2 地域環境への配慮					0.3	2.8	0.33				2.8
2.1 大気汚染防止						3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善						3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	2.5	0.25				
1 雨水排水負荷低減			独自			3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25				
3 交通負荷抑制			独自			3.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制						1.0	0.25				
3 周辺環境への配慮					0.3	3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40				
1 騒音			独自			3.0	1.00				
2 振動			独自			-					
3 悪臭						-					
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					0.4	3.0	0.40				
1 風害の抑制						3.0	0.70				
2 砂塵の抑制						1.0					
3 日照障害の抑制						3.0	0.30				
3.3 光害の抑制					0.2	3.0	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.70				
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30				

**重点項目スコアシート**  
 (仮称)エルグランデ岡崎八帖北

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいも版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>			<b>3.0</b>
LR3-1 地球温暖化への配慮	3.0	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>			<b>2.7</b>
Q2-2 耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3 対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2 非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>			<b>1.0</b>
Q3-1 生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:3.9%/建物緑化:8.1%
<b>④ 地域材の活用</b>			<b>1.0</b>
		(評価ポイント)	
Q3-2 4) 地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2) 地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)エルグランデ岡崎八帖北

計画上の配慮事項	
総合	<p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な住環境の整備に配慮した。</li> </ul>
Q1 室内環境	<p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓に複層ガラスを採用し、熱負荷低減に配慮した。</li> </ul>
Q2 サービス性能	<p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住戸内に間取りの変更の障害となる構造躯体は無しとした。</li> </ul>
Q3 室外環境(敷地内)	<p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明・防犯カメラを配置するなど、防犯性に配慮した。</li> </ul>
LR1 エネルギー	<p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・断熱等性能等級5、一次エネルギー消費量等級5を達成する等、省エネルギー対策に配慮した。</li> </ul>
LR2 資源・マテリアル	<p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節湯・節水型の住設機器を採用し、環境に配慮した。</li> </ul>
LR3 敷地外環境	<p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・潜熱回収型ガス給湯器(エコジョーズ)を採用し、CO<sub>2</sub>及びNO<sub>x</sub>の排出抑制に配慮した。</li> </ul>
その他	<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>